

- 古文に**可能動詞**はない
- 古語でザ行に活用する上二段動詞はない。
「ジ・ズ」などと発音されるものは、全てダ行の動詞である。
- 上一段活用は「**ひいきにみゐる**」で覚える。
大抵原型で「る」がついたら上一段活用である可能性が高い。
- 下一段活用は「**蹴る**」の一語のみである。
- 力変「**来**」には語幹と語尾の区別がない
- 本来のサ変には「**す**」と「**おわす**」の二語のみしかないが、「**す**」は他の語と結びつき多くの複合語をつくる。
- ナ行に活用する四段動詞はなく、ナ行は全て変格活用である。
- 「**いまそかり**」は（いますがり、いまそがり、いまそがり）と表されることもある。
- 「**あり**」は他の語と結びついて多くの複合語を作る。
- 形容詞の活用表の右側を**本活用**、左側を**補助活用**と呼ぶ
- 語尾が濁って「**じ**」になることもある。
- 語頭に「**いと（とても）**」をつけても意味の通じるものが形容動詞。

たら	なら	しく しから	く から	ら	な	せ	こ	i	i	e	け	a	む・ず	未然形
とたり	に なり	しく しかり	く かり	り	に	し	き	i	i	e	け	i	たり・て	連用形
たり	なり	し	し	り	ぬ	す	く	u	いる	u	ける	u	言い切り	終止形
たる	なる	し しかる	き かる	る	ぬる	する	くる	u る	いる	u る	ける	u	とき ・こと	連体形
たれ	なれ	し しけれ	けれ	れ	ぬれ	すれ	くれ	u れ	i れ	u れ	けれ	e	ども・ど	已然形
たれ	なれ	しか れ	かれ	れ	ね	せよ	こ よ	i よ	i よ	e よ	けよ	e	命令	命令形
タリ活用	ナリ活用	シク活用	ク活用	ラ行変格活用	ナ行変格活用	サ行変格活用	カ行変格活用	上二段	上一段	下二段	カ行下一段	四段		活用の種類
堂々たり 朦朧たり 茫々たり	静かなり あからさまなり	うれし 悲し すさまじ をかし	なし 難し 少なし	さり あり かかり しかり	あり 居り 侍り いまそかり	死ぬ 往ぬ 去ぬ	す おはす ご覧す	来	恥ず 老ゆ 悔ゆ 報ゆ 恨む 古る	着る 似る 煮る 見る 居る 率る	受く 寝 植う 得 経 飢う	蹴る	行く 会ふ 飽く 借る 足る	例

動詞の分類

①変格活用 or 下一段活用「蹴る」 or 上一段活用「ひいきにみゐる」ではないかを識別する。

↓

②未然形で識別

「aず」…四段活用

「iず」…上二段活用

「eず」…下二段活用

形容詞の分類

◦未然形にしたとき、語頭に「し」がつくかないかで分類

形容動詞の分類

◦終止形にした時「なり」か「たり」かを分類。

音便

- ・「イ音便」→「い」に変化
- ・「ウ音便」→「う」に変化
- ・「撥音便」→「ん」に変化
- ・「促音便」→「っ」に変化